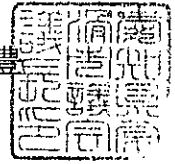




令和2年1月24日

常滑市長 伊藤辰矢様

常滑市議会議長 加藤久



「第7回議会と語る会 市民団体スピーチ 議会と共に」での
要望について

令和元年12月23日に「第7回議会と語る会」を開催し、市内で活動する団体関係者からいただいた意見を踏まえ、下記のとおり要望事項を取りまとめました。

常滑市におかれましては、ぜひ議会の要望と認識して頂き、検討されますようお願い申し上げます。

記

青海ボランティア隊

意見要望等	議会として市への要望
① 無料住民バスは運転対価をもらうことはできない。また市の補助金はありがたいが使い勝手がよくないことから運行資金の確保が必要である。	無料住民バスの試験運行はモデル事業としては成功しているが、持続可能な事業にするためには現行の『まちづくり事業費補助金』では不十分である。安定的な運行財源確保のため、持続可能な制度の検討を進められたい。
② ボランティアの人材が慢性的に不足しており、十分なサービスが提供できていない。ボランティアの人材確保と周囲の理解が必要である。	ボランティア活動を活発にするため、人材育成と資金確保が必須である。そのための教育的アプローチの後押しと持続可能な制度の検討を進められたい。

鬼崎漁業協同組合

意見要望等	議会として市への要望
① 鬼崎魚群市の評価は高かったが、海苔の知名度は思っていたほどではなかった。来年度も開催するために市には更なる協力をお願いしたい。	来場者の評価は極めて高かったが、鬼崎海苔の知名度は都市部からの来場者には低かった。来年度も同様に開催し、海苔の知名度を上げるため、宣伝や運営への協力に努めてもらいたい。

<p>② 鬼崎漁港をテーマパーク化して観光施設としたいので環境整備をお願いしたい。</p>	<p>海苔加工場は全国でも他にはない規模である。また、広い敷地もあり、本市の観光の一つとして成り立つと考える。 一方でアクセス道路の幅員が狭く、観光バスによる誘客ができない。今後、更なる観光に繋げるため、アクセス強化を検討されたい。</p>
---	--

常滑青年会議所（JC）

意見要望等	議会として市への要望
<p>① 『修練』『奉仕』『友情』の信条を基に明るい豊かな社会を築き上げる活動をしている。2020年のスローガン『進取果敢、自身の心を動かし相手の心を豊かにする瞬間を求めて』に従い、『何事にも果敢に挑戦し、失敗を恐れずに経験するとの思いで取り組む。』</p>	<p>例年、青年会議所は『まちづくり事業費補助金』を受けて活動している。本市でも市全体に、まちづくりに大いに寄与するこれら活動や青年会議所の魅力について発信に努めてもらいたい。</p>

とこなめ山車まつり実行委員会

意見要望等	議会として市への要望
<p>① 運営費用について</p>	<p>文化庁に補助金申請をして予算執行までに1年半ほどかかり、その間は補助金がもらえない。武豊町は町が保証人となり運営費用としてJAから借入している。本市も同様にされるよう努められたい。また、「市長おまかせ」に寄附されたふるさと納税を運営経費に活用できよう検討いただきたい。</p>
<p>② 実行委員会と市との共催で行うことにより、第5次総合計画に記載されているシティプロモーションの実現の一助になりたいと思う。</p>	<p>令和3年度に策定予定の第6次総合計画に山車まつりの活用を記載し、本市をPRする機会とされるよう努められたい。</p>

常滑市手をつなぐ親の会

意見要望等	議会として市への要望
<p>① 災害時における福祉避難所について</p>	<p>東日本大震災や熊本地震時に一時避難所を開設したが、すぐに障がい者の福祉施設の開所に至らなかった。他市町では福祉施設のオーナーと契約を結ぶなど迅速な対応が</p>

	<p>できるよう準備している。本市においても福祉避難所が即時開所できるよう準備に努めてもらいたい。</p>
<p>② 障がい者の入所施設について</p>	<p>本市には緊急一時預かりはあるが、ショートステイを利用する時は市外の施設しかない。地域生活支援拠点や多機能型入所施設の市内にはない。県や民間施設と話し合っ て市内に誘致するよう努められたい。</p>
<p>③ 知的障害者の就労について</p>	<p>本市には就労施設B型のみ整備されている。しかも定員が満員で他に働く場所がない。しかし、全国展開している農場が東海市に進出する。本市でも農福連携の就労施設A型の調査研究を行い、誘致に向けて検討いただくよう、努められたい。</p>